

繋 谷地南部っ子

令和6年度 学校便り
R 7. 2. 14
NO 25
校長 秋場 一憲

経営キーワード「一步踏み出す力（主体性）」「チーム力（協働・対話）」「考え抜く力（解決・創造）」

子育ての大切なポイントを学びました！！

1月30日（木）に第2回目の就学時オリエンテーションを行いました。その際、新入生の保護者対象に家庭教育講演会を開催し、講師として山形県家庭教育アドバイザーである鈴木理枝子氏をお招きしました。アイスブレーキングで心をほぐした後、日頃のご家庭でも実践されている下記の内容を、より一層意識していくことの大切さを丁寧にご講話くださいました。保護者対象とは言え、本校の教育でも意識していかなければならない項目ばかりで、今後保護者の皆様方とポイントを共有し「共に」子供たちに向き合い育てていきたいと思いました。



丁寧に分かりやすいご講演

【講話の骨子：子どもの能力（チカラ）を伸ばす親のかかわり方】

- ①自尊心・自己肯定感を高める（毎日のかかわりの中で育まれるもの、子どもの長所に焦点化）
- ②子どもの話を聴き、考えを尊重する（心の安定をはかる、子どもが自分で決める力を育む）
- ③がまんする経験・失敗体験も大切に（がまんできたら認める、失敗時の原因と対応法を一緒に考える）
- ④善悪の区別をつける、子どもの目線で話す（規範意識、結果を想像する力、危険な事等には毅然と叱る）
- ⑤規則正しい生活リズムをつくる（大まかな生活ルールを子どもと一緒につくる、睡眠と食事）

5年生の優しさと気遣いが、園児の心をぐっと掴む！！

第2回面の就学時オリエンテーションでは、5年生にとって大切な役割があります。それは、園児と温かな交流を交わし、「小学校って楽しいところ」「小学校では優しいお兄さん・お姉さんが待っていてくれる」などのワクワクした気持ちを園児に持ってもらうこと。もう一つは、4月から最高学年として1年生にどう接すればいいかを学ぶこと。どんな配慮をしながら楽しく活動するかをクラスで何度も話し合いました。

当日は、グループに分かれ、楽しく会話をしながらの絵描きサポート、体育館やスペースで一緒に遊ぶことなどで交流を深めました。園児が帰る時には、笑顔で手を振り「バイバイ。」と声をかけ合う姿も。5年生の優しさと気遣いが園児の心をぐっと掴んだ時間となりました。5年生、素晴らしい！！

笑顔で一緒に絵描き



けん玉に挑戦



御礼 冬期間における子供たちの登下校に際し、ご好意で除雪をしてくださっている方々がいらっしゃると思っています。心から感謝申し上げますとともに、今後も無事故で登下校できるよう指導していきます。

若手教職員と共に成長する ～ 第8弾(最終) ～

「若手教職員と共に成長する・若手教職員紹介」シリーズ第8弾で最終となる今号では、高橋花奈 主事を紹介します。学校予算等の執行や施設・設備・備品管理等を担い、本校3年目を迎えています。

— 高橋花奈 主事：明るさと子ども目線での仕事ぶりが魅力 —

高橋主事は、学校事務職員として日々の職務にあたっています。電話対応等の接遇がとても丁寧で、職員室で同僚と明るく笑顔で会話をしている場面をよく見かけます。そのため、職員室全体も明るい雰囲気になり活気溢れる職場に繋がっています。また、予算執行等にあたっては費用対効果を十分に考え物品等を購入したり、施設設備等の修繕にあたっては迅速に対応したりし、専門職種の立場を十分に踏まえ、学校経営にしっかりと参画していただいていることに感心しています。



講話の中で子供たちに質問を投げかける

【高橋 主事にインタビュー】

Q 学校事務職員を志した理由は？

A 高校でお金関係のことを学んだので、その経験を生かしたいと思ったことと、子どもと関わることが好きだったからです。

Q 谷地南部っ子の良さは？

A 明るくフレンドリーに接することができること、素直なところです。

Q 3学期がんばっていることは？

A 見通しを持って、正確に仕事をすることです。

Q 仕事を進める中で、働き甲斐や生き甲斐を感じる時は？

A 子供たちが購入した物を使って学んでいる姿や楽しそうに遊んでいる姿を見た時です。



子供たちと一緒に遊ぶ

事務職員は、いつも職員室でパソコンに向かって仕事をしているというイメージを持つかもしれません。けれども、高橋主事は日常的に、廊下で子供たちと笑顔で会話を楽しんだり休み時間にドッジボールなどで一緒に遊んだりしています。だからこそ、子供たちとの距離感が近く信頼関係を築いているので、子供たちも心を開いてたくさん話をしています。「事務職員」ではなく「学校事務職員」という立場を重要視し、予算執行でも施設管理等でも常に「子ども目線」で考え職務にあたっていることに感謝しています。（校長）

「財務に関わる主事講話」で、お金と節約の大切さを伝えました……

高橋主事より、全校朝会で財務に関わる講話を行いました。学校事務職員にスポットライトを当て、予算や備品購入、節約などに関わる大切なことを直接子供たちに話す機会を設定したと考えたからです。当日は、パワーポイントを使い、グラフなどの資料を提示しながら分かりやすい講話がありました。主な講話内容は、下記のとおりです。

◆学校事務職員の仕事内容

◆学校に配当される予算額と執行に際し留意していること

◆節水並びに節電の大切さと具体的にできること

子供たちは、ドッジボールと椅子の値段が予想以上に高額な点に驚いたほか、節水や節電のためにできる具体的な方法について真剣に考えながら講話を聴いていました。子供たちの意識の高まりを期待しています。なお、ドッジボール1個の値段と椅子1脚の値段は、ぜひ子供たちにお聞きください。



パワーポイントで分かりやすく説明